



【発行】林野庁 東北森林管理局  
津軽白神森林生態系保全センター

住所：青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字東阿部野 70-82

TEL：0173(72)2931 FAX：0173(72)2932

## ソーシャルディスタンスを保って自然再生

7月18日（土）、令和2年度最初の公募による自然再生活動を行いました。

新型コロナウイルスの影響により、5月に予定していた深浦町十二湖での森林教室が中止となり、今年度のイベント実行については大変不安な状況の中、緊急事態解除とともに経済活動が再開されたことから、実行を決定しました。

しかし、依然ウイルスの拡大には充分注意が必要であることから、受付時に参加者の方からウイルス拡大防止のためのアンケートを書きいただき、体温に関してもチェックしつつ、マスク着用とバス乗車時には手のアルコール消毒を欠かさず行い、座席に関しても密着を避けるため窓際側に座っていただきました。本来であれば公募人数20名のところ、人数を減らし11名（うち子供1名）で実施しました。

自然再生箇所である西目屋村鬼川辺国有林に到着後、田中所長より「コロナ禍の影響により募集人数を例年の半分とさせていただきました。苗木採取・植え付け作業時での手元足下注意、熱中症防止のための水分補給を行って安全で楽しい活動にしましょう」との挨拶の後、作業を開始しました。

苗木は昨年度同様、日陰に強いブナの稚樹やミズナラ、カエデを堀取り、移植ゴテを使い丁寧に植え付けしました。

アクアグリーンビレッジ ANMON にて昼食、午後からは世界遺産緩衝地域内にあるブナ林散



全員マスク着用で開会式



小さな苗木を丁寧に植えました



世界遺産地域内のブナ林を散策

策道を約1時間半かけて、ゆっくり散策、原生的なブナ林を堪能いただきました。

最後に津軽ダムにて白神山地から流れる豊かな水を眺め、閉会しました。

今後においても新型コロナウイルスの影響を勘案しつつイベントを実行していきます。

(小倉)



楽しい活動となりました

## 十二湖危険木調査に協力しました

7月9日(木)、深浦町主催による「津軽国定公園十二湖遊歩道危険木の調査」が行われました。

調査は、深浦町と地元ガイド団体、青森県、津軽森林管理署、当センターから計21名が参加し、4グループに別れ遊歩道沿いの危険木(倒木や落枝の恐れがある枯れ木や折損木)の調査を実施しました。

調査の結果、計66本が危険な木と判断されました。今後、深浦町で所要の手続きを経て、歩道上に倒れてきそうな枯れ木などを撤去することとしています。

十二湖遊歩道では、観光客が安全に散策できる環境づくりを目的に、危険木調査・撤去が毎年行われています。山を散策する時は、樹木の枝の落下・蜂や熊など様々な危険が潜んでいますので十分注意し、美しい景色、可憐な花等を存分に楽しんでいただきたいと思います。(田中)



危険木調査の様子

### 【第2回自然再生活動の募集について】

9月12日(土)に開催予定の第2回自然再生活動についてお知らせいたします。募集期間は**8月17日(月)～8月28日(金)**を予定しておりますが、**新型コロナウイルス感染症の発生状況により中止とする**場合があります。

詳細につきましては、次号(8月発行号)にてお知らせいたします。なお、発行は8月中旬以降を予定しております。

ご理解とご了承いただきますよう、よろしくお願いいたします。

※ホームページにてイベントに関するチラシを掲載しております。